

銚田地域イチゴ環境制御技術研修会を開催しました

令和6年10月28日、銚田市内の現地ほ場において、イチゴの早期出荷、安定生産につなげるため、普及センター主催による銚田地域イチゴ環境制御技術研修会を開催し、生産者および管内2JAや県担当者ら計41名が参加しました。普及センターから、早期出荷・安定生産に有効なエアコン夜冷育苗とクラウン冷却の実証試験結果や、実演を交えたクラウン冷却技術の説明を行いました。

また、試験に取り組む生産者からは環境測定装置であるプロファインダーや自動換気装置、炭酸ガス施用機の導入についての説明があり、「プロファインダーを使用することでハウス内環境が「見える化」され、イチゴの生育環境が改善されて収量がプラスになるため、導入した方がいい」という意見を頂きました。

その他、普及センターからは、近年の気温推移や花芽分化の状況、育苗中の高温対策として遮熱資材や屋根散水を紹介したほか、園芸研究所からはクラウン冷却技術の研究状況についての説明がありました。

参加者からは、屋根散水や遮熱ネット等の高温対策に取り組んだことで苗の定植をスムーズに進められたなどの感想が聞かれたり、導入している資材についての質問が出されたりするなど活発な意見交換が行われました。

普及センターでは引き続き、生産者や関係団体と連携し、現地が抱える課題の解決に向けた活動を続けていきます。

銚田地域農業改良普及センター（成長産業）

